

2008・2009 年度経済見通し(2008年12月改訂)

当社は、7～9月期のGDP統計(2次速報)の発表を受け、経済見通しを改訂しました。日本経済は減産が本格化する一方、企業、消費者ともマインドが大幅に悪化し、輸出もさらに減速と、牽引役を失った状態にあり、08、09年度とも弱い動きが続いていくと見込まれるとの、前回予測の基本シナリオには変更はありません。世界同時不況の深まりに伴い、実質GDPの年度予測値は下方修正しました。

実質成長率：2008年度 -1.1%(前回予測-0.4%)、2009年度 -0.8%(前回予測0.3%)

予測表

年度	2007 実績	今回予測		前回予測(08.11.17)	
		2008 予測	2009 予測	2008 予測	2009 予測
実質 GDP	1.9	-1.1	-0.8	-0.4	0.3
民間消費	0.9	-0.1	0.5	0.1	0.6
住宅投資	-13.0	-4.4	0.1	-3.6	2.6
設備投資	2.3	-5.3	-4.7	-2.7	-1.1
政府消費	2.2	0.4	0.8	0.4	0.8
公共投資	-5.8	-4.2	-1.7	-4.2	-1.7
輸出	9.3	0.2	-4.8	1.6	0.3
輸入	1.8	-1.3	-2.9	-0.4	0.6
名目 GDP	1.0	-2.5	-0.8	-1.8	0.4
GDP デフレーター	-0.9	-1.4	0.1	-1.3	0.1

[実質GDP寄与度]

内需	0.5	-1.2	-0.4	-0.6	0.4
外需	1.3	0.2	-0.5	0.3	0.0

(注)単位は前年度比

[四半期]

	2008 →予測		2009			
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12
実質 GDP (前期比)	-0.5	-1.3	-0.1	-0.5	0.2	0.4
(同年率)	-1.8	-5.0	-0.5	-2.0	0.7	1.5
名目 GDP (前期比)	-0.7	-1.4	-0.4	-0.5	0.8	0.3

《本件に関するお問い合わせ先》 株式会社富士通総研 経済研究所 上席主任研究員 米山秀隆
電話 03-5401-8392(直通) E-mail: yoneyama.hide@jp.fujitsu.com

* 本資料は内閣府記者クラブにて配布いたしております。